

ダイアボンド DH661A-KW

ダイアボンドDH661A-KWは、変性ポリオレフィン系ホットメルト形接着剤です。

§ 特長

1. 低粘度のため、スプレー塗布可能です。
2. ポリオレフィン（ポリプロピレンなど）、紙、フォーム、金属への密着性に優れます。
3. ホットタックが長いタイプです。

§ 一般性状

主 成 分		変性ポリオレフィン
外 観		淡黄色半透明
不 揮 発 分 (%)		100
溶 融 粘 度 (mPa·s)	at180℃	1,500 ~ 4,500
軟 化 点 (℃)	R&B 法	140 ± 5
最適使用温度 (℃)		160 ~ 180
保 証 期 間 (月)	at25℃	12

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分、油、ゴミなどを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 溶 融 方 法 溶融温度は接着剤の最適使用温度範囲内で使用して下さい。
温度の高すぎや長時間加熱の繰返しにより熱分解し、粘度変化、変色、ゲル化や異臭を放つようになります。
温度が低すぎると、糸を引いたり、被着材に対するぬれが悪くなり、接着不良を起こす原因になります。
3. 塗 布 方 法 加熱溶融させて接着することが必要ですので、作業に適したアプリケーションャーを使用して塗布して下さい。
ホットメルト形接着剤は、季節（温度）により影響を受けやすいので、それに応じたグレードの接着剤を選定するか、室温の変化を少なくして下さい。また被着材の温度管理（プレヒートなど）に注意して下さい。
4. 圧 着 ・ 養 生 接着剤塗布後、すぐに貼り合わせ、加圧します。接着後十分に冷却するまでは、大きな力を加えないようにして下さい。

§ 注意事項

《取扱注意事項》

- ・ 接着用以外には使用しないで下さい。
- ・ 蒸気を発散する場所には、局所排気装置を設置して下さい。
- ・ 熔融機器および塗布機器を扱う場合は、手袋、長袖作業衣、保護メガネなどの火傷防止の措置をとって下さい。
- ・ 直射日光を避け、乾いた涼しいところで保管して下さい。熱源・発火源から離れた場所で保管して下さい。開封した使用中の包装容器に、ゴミ・水が入らないようにして下さい。

《加熱熔融状態での注意事項》

- ・ 目に入った場合は、直ちに水で冷やし、医師の手当を受けて下さい。目をこすったり、無理に開けたりしないで下さい。
- ・ 皮膚が接触すると火傷することがありますので、その場合は直ちに水で冷やし、火傷に対する医療処置を行って下さい。
- ・ 加熱熔融時に出る蒸気は、目、鼻、のどを刺激することがありますので、異常を感じた場合は直ちに空気の新鮮な場所に移動して下さい。

☆環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。